飯塚病院

循環器病センター レター

2023 年 6 月発行　Vol.9

◇『循環器病センターレター』Vol.9 発行にあたって

拝啓、梅雨の晴れ間の青空に心和む今日この頃、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

５月からの新型コロナウイルス感染症の５類への引き下げに伴って、社会生活や移動の緩和などが行われていく一方で、医療現場ではこれまでどおりの感染対策を行いながら今後起こる可能性のある感染の再拡大に対する対応など、まだまだ解決すべき問題は多く残っております。そのような不透明な状況ではありますが、循環器病センターでは新年度に入り、循環器内科、心臓血管外科ともに今年も新たなスタッフを迎えることとなりました。今回の循環器病センターレターでは、新年度恒例である新任医師のご紹介と各診療科での TOPICS をご案内させていただきます。

本年度も、微力ではございますが新旧のスタッフ一丸となって筑豊地域の皆様に最適な循環器診療を提供できるよう努力して参りたいと思います。

これからも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

2023 年 6 月吉日　血管外科
部長　松元 崇

◇TOPICS　心臓血管外科　　部長　内田孝之

◆循環器病センター長ご挨拶

いよいよ 5/8 からコロナが 5 類へ移行となり、世の中も賑わいを取り戻したようですが目の前のコロナがいなくなったわけでも、変わったわけではなくかえって気を遣うこともある今日この頃です。

しかしながら学会、研究会では対面で活発な討議の機会も増え、循環器疾患治療としても本来のペースに戻りつつあるようにも感じます。

当循環器病センターでは、今年度は循環器内科部長が井上修二朗先生から西 淳一郎先生に交代となり、その他スタッフの交代も多く、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかとは思います。これまで通り循環器内科、心臓血管外科、血管外科の垣根を越えて全員で力を合わせて地方の循環器診療にお役に立てるようスタッフ一同頑張っていく所存です。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

◆心臓血管外科の新体制＆TOPICS

心臓血管外科におきましては私部長の内田以外は若手が総入れ替えとなりこれまでの酒井先生、橋野先生、岡田先生から、松尾先生、石井先生へ交代となりました。

両名とも若く元気いっぱいで、血管外科松元先生も一緒になって総動員で急患受け入れはじめ、業務においてこれまで通り、さらにこれまで以上の質と量をしっかり確保していきたいと一同張り切っています。

また私ごとではございますが、内田は本年で 60 歳となり還暦を迎えます。しかし、病院と相談の上、今後まず 5 年間は引き続き心臓外科部長として診療治療に従事させていただくこととなりました。今後も下記の新治療、さらにダビンチ心臓手術などさらに質の高い心臓血管治療の導入、筑豊唯一の心臓外科施設としての責務である緊急対応などしっかり頑張っていきたいと思っております。

なお、新スタッフにつきましては、新任医師自己紹介をご覧頂けますと幸いです。

今回御紹介させて頂きます心臓血管外科でのトピックとしては**“低侵襲左心耳閉鎖術”**の開始です。
これまで心臓低侵襲手術（MICS）としては、僧帽弁、三尖弁疾患、心房中隔血栓症などの心房切開下手術に加え、大動脈弁置換術を右小切開低侵襲手術として開始施行してきました。

左心耳閉鎖術は慢性心房細動症例への外科的アブレーションにおいて併施することが多く、特に我々心臓外科ではこれまでは弁膜症性心房細動に対して弁手術と同時に閉鎖術を行って参りました。

近年心房細動治療が脚光を浴びるにつれてその合併症である脳梗塞をいかに予防するかも重要な問題となっているのは皆様ご存じの通りです。

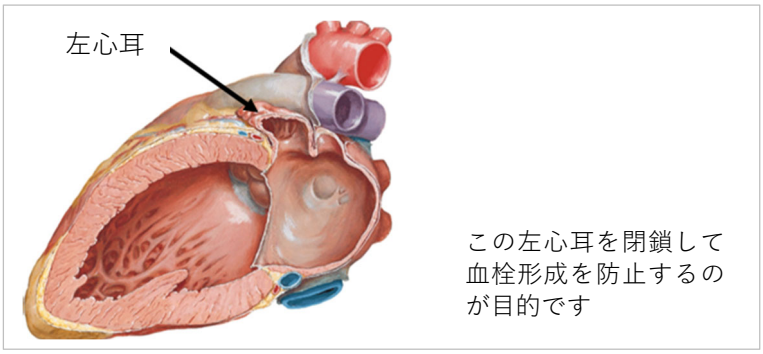
これに対して DOAC 等の新規抗凝固薬、WATCHMANN といったカテーテル左心耳閉鎖デバイスも登場しました。しかしながら抗凝固薬、抗血小板薬の忍容性に問題がある症例、内服下でも梗塞合併症が起こった症例に対してはその後 2 次予防等治療に難渋することも少なくはありません。このため当科では、これらの症例を対象に、これまでの低侵襲小切開心臓手術の延長として**“切らない左心耳閉鎖術”**を開始いたしました。

具体的には左側胸部に 3 カ所ポート用の 1 cm 程度の切開を置き、そこから胸腔鏡下に左心耳を専用のクリップあるいは自動縫合器にて閉鎖あるいは切除する方法です。（図 1-2）
これにより一切の抗凝固薬、抗血小板剤内服困難な状況でもその後の塞栓症の発症率が著明に減少することがすでに報告されています。

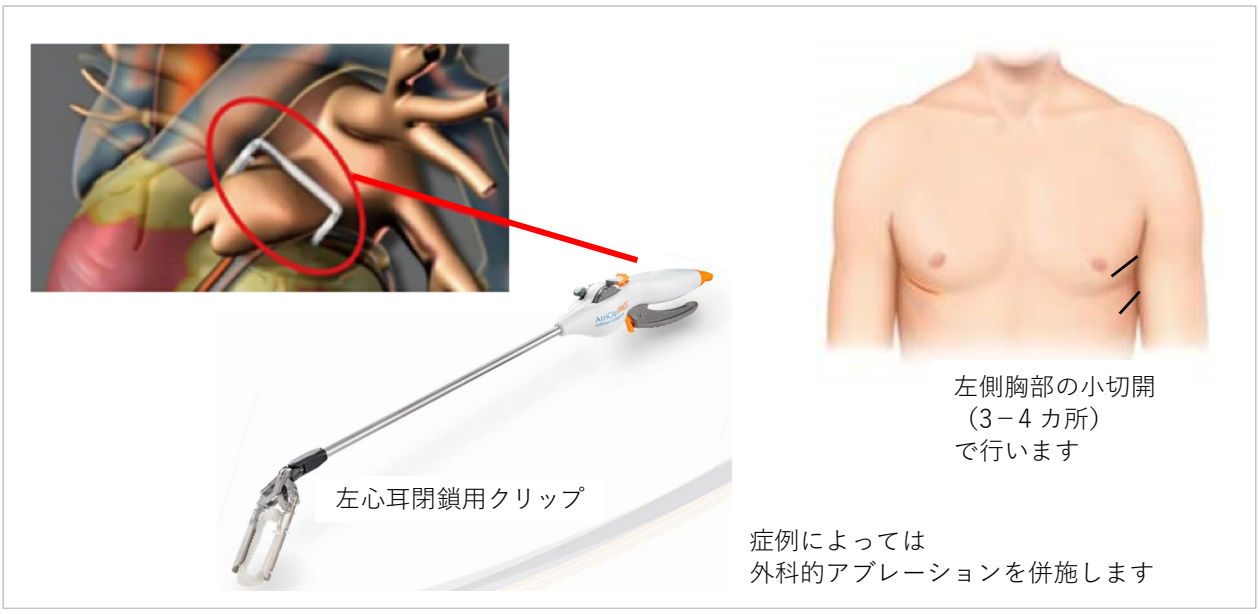
今後この方法について、関係各所へ御紹介すると共に一例一例慎重に治療を積み重ねていきたいと思っています。心房細動による塞栓症でお困りの患者さんがおられましたら、是非一度飯塚病院心臓血管外科まで、ご相談いただけますと幸いです。

（図 1）**左心耳**

心房細動の際、心原性塞栓の塞栓子となる血栓の好発部位



（図 2）**小切開左心耳閉鎖術**



◇新任医師紹介　心臓血管外科

◆松尾 彰信（まつお あきのぶ）　卒年 2018 年

医師 6 年目の松尾 彰信と申します。
地元佐賀での初期臨床研修の後、九州大学病院や下関市立市民病院での勤務を経て今年度より飯塚病院に赴任して参りました。
患者さんに寄り添いながら常に自分にできる最善の医療を提供できるよう、誠心誠意診療に携わらせていただきたいと思います。
どうぞ宜しくお願いいたします。

◆石井 数也（いしい かずや）　卒年 2021 年

医師 3 年目の石井 数也と申します。
昨年までは飯塚病院初期研修医として勤務しており、今年度より心臓血管外科の医師として飯塚病院で勤務することになりました。勤務が始まり 2 ヶ月近く経ちましたが、まだまだわからないことばかりで自己研鑽の毎日です。至らない点が多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

◇TOPICS　循環器内科

部長　西 淳一郎

◆循環器内科の新体制

2023 年 3 月末日、井上医師、本田医師、古川医師が人事異動により退職し、4 月に西ならびに、田中医師、田渕医師が着任致しました。（新任医師紹介で、各々ご挨拶させて頂いております）また院内でのスタッフ加入などもあり、引き続き、地域の皆様に最適な循環器診療を提供できるように努力して参りますので、今年度も変わらぬご支援、ご指導を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

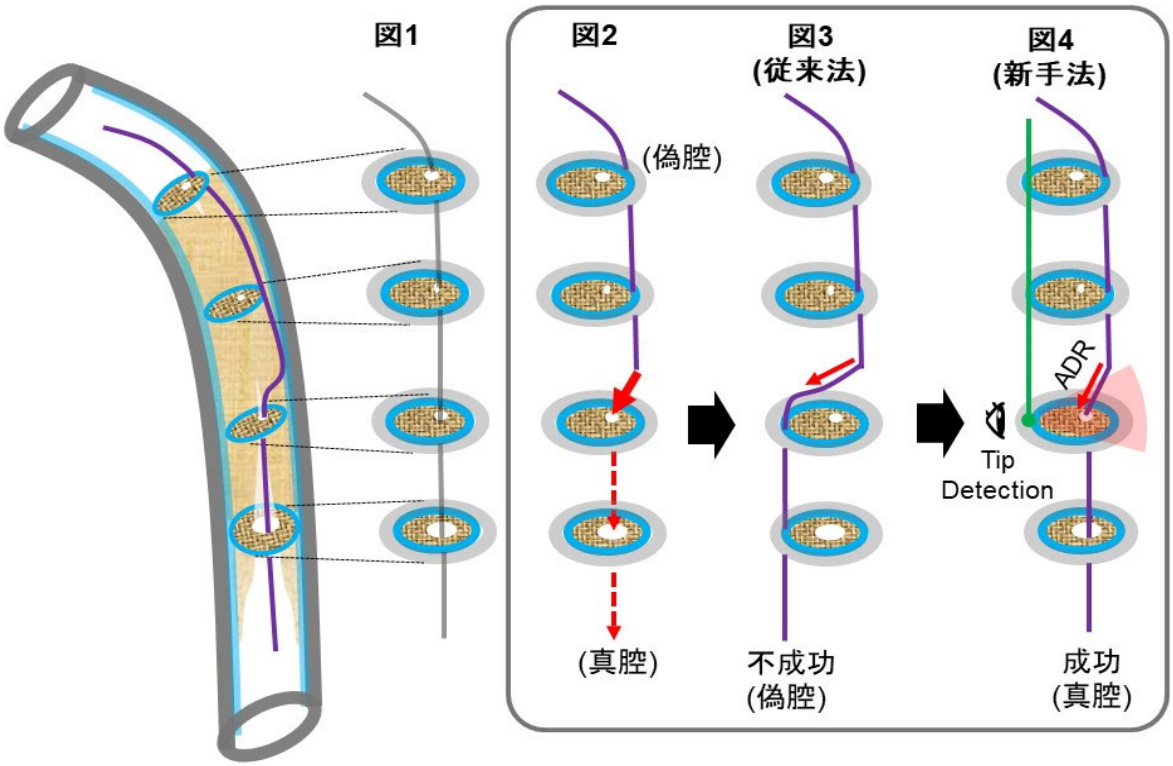
◆難治性冠動脈病変への新しいカテーテル治療戦略

ーTip Detection を用いた Antegrade Dissection Re-entry(ADR)手技ー

冠動脈疾患の中でも、狭窄がゆっくりと進行し完全閉塞(100%)してしまう「慢性完全閉塞病変(**Chronic total obstruction:CTO**)」は、経皮的カテーテル治療において難易度の高い技術を要する難治性の病気です。

ワイヤーが閉塞病変の針孔のような真腔をうまく潜り抜けることができればよいのですが(図１)、ワイヤーが閉塞物に迷入することが多く(図 2)、一旦迷入してしまうと再度遠方の真腔に潜り抜け出ることは難しいのが現状です(図 3) 。

当院では、稲永医師を中心に **Tip Detection** 法を用いて、ワイヤーの先端を血管内超音波で可視化しながらワイヤーを操作し、真腔方向へ誘導して通過させる難易度の高い技術(図４)を駆使し、**CTO** 病変における順行性通過において高い成功率を収めています。



また、同治療について川上医師が、カテーテル治療研究会（近畿心血管ジョイントライブ)にて発表し、【最優秀賞】を授与されるなどの高評価も受けています。

循環器内科では、治療成功率向上に向けて日々技術向上に取り組んでおりますので、難治性の冠動脈病変でお困りの患者さんがおられましたら、当科までご相談ください。

◇新任医師紹介　循環器内科

◆西 淳一郎（にし じゅんいちろう）　卒年 2000 年

今年度より循環器内科に着任致しました西 淳一郎です。

これまで、九州大学病院循環器内科および救命救急センターで勤務したのち、福岡県済生会二日市病院や聖マリア病院といった福岡県南部地域において循環器診療・救急医療に携わって参りました。

今回、広域医療圏である筑豊地域の最後の砦である飯塚病院へ赴任させて頂くこととなり重責を感じております。当院を頼りにお越しになる難病や重症の心血管病を患った患者さんに対して、最新の医療のみならず、病の苦しみの中、少しでも希望にかなう生き方を手にして頂けるテーラーメードの治療選択肢をご提供できるよう、患者さんに寄り添った視点で常に考えていくよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いします。

◆田中 敬士（たなか あつし ）　卒年 2004 年

今年度より赴任いたしました田中 敬士と申します。北海道大学医学部を卒業後、出身地である福岡に戻り九州大学循環器内科へ入局しました。九州大学病院の関連病院勤務、大学院卒業等を経て、卒後 19 年目となりました。不整脈疾患に興味を持ち、カテーテルアブレーション術やディバイス治療について日々勉強しております。心不全病態とも深く関連していることから、不整脈治療の重要性を感じております。

地域の診療に役立てるようこれからも精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆田渕 拓也（たぶち たくや ）　卒年 2019 年

飯塚病院循環器内科に新しくスタッフとして配属になりました田渕 拓也と申します。大学•初期研修は福岡で研鑽をつみ、後期研修の2年間を地元愛媛で過ごし後期研修医3年目として戻ってきました。急性期から慢性期まで多岐に渡り、勉強したいと思っております。至らぬ点も多いかとは存じますが、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます

Information

循環器 UP TO DATE WEB セミナーのご案内

日　時　2023 年 7 月 27 日（木）19:00～

座　長　いわみハートクリニック
院 長　岩見元照 先生

テーマ　『 不整脈関連』（仮）

講演者

飯塚病院　循環器内科
田中 敬士 医師

☆今後の WEB セミナースケジュール予定
8 月以降の詳細な日程は決まっておりませんので、
決定次第改めて、ご案内させていただきます。

※具体的な視聴方法は、別途ご案内いたします。

お問い合わせ　飯塚病院 循環器内科医局 TEL：0948-22-3800（代表）

◇受診について　（2023 年 6 月現在）

■心臓血管外科・血管外科　予約必要　紹介状必要

医師名	月	火	水	木	金
内田 孝之	AM● PM○	AM●/○			
松尾 彰信			AM○/●		
石井 数也	AM●				
田中 二郎		●			
松元 崇 （血管外科）				AM● PM○	AM●/○

○：初診　●：再診

◆低侵襲心臓手術外来　【電話にて相談】内田 孝之
◆ペースメーカ外来　【水・金曜日の午後】
◆心臓手術　【月曜】内田 孝之
◆大動脈瘤外来　【木曜】松元 崇
◆静脈瘤外来　【木曜・第1金曜 午前】
◆足病外来　【第1金曜 午前】 松元 崇　【第3金曜 午前】眞柴 貴久
外来直通電話番号　0948-29-8024（心臓血管外科）（血管外科）

※大動脈瘤、末梢動脈疾患、下肢静脈瘤、虚血性心臓病・弁膜症などの手術を対象とした外来を行っています。疾患に沿った予約を行っていますので事前予約をお願いします。

※受診や当科疾患に関してのご質問、疑問があれば、まずはお気軽にお電話でお問い合わせください。
☎予約・お問い合わせ：
0948-29-8024
（平日：9:00～17:00）

■循環器内科・心不全ケア科　紹介状必要

循環器ホットライン（24 時間 365 日対応）
急患依頼　0948-29-8846（ダイヤルイン）

医師名	月	火	水	木	金
西 淳一郎	○/●		○/●		
稲永 慶太		○/●			○/●
田中 敬士		○/●		○/●	
川上 将司	○/●			○/●	
髙原 勇介			○/●		○/●
大賀 泰寛		○/●			
石川 智一	○/●		○/●		
児島 啓介					○/●
眞柴 貴久				○/●	
溝上 功明			●		

○：初診　●：再診

専門外来（予約必要）（紹介状必要）
◆睡眠時無呼吸外来　【第1、3、5木曜】児島 啓介【第2、4木曜】吉峯 晃平
◆ICD外来　【月曜】稲永 慶太、田中 敬士、髙原 勇介、大賀 泰寛
◆学校検診
外来直通電話番号　0948-29-8036（循環器内科）

※虚血性心疾患、心不全、不整脈、末梢動脈疾患などの外来を行っています。毎日診察を行っていますので、平日 8:00～11:00 までに紹介状を持参し来院をお願いします。

※受診や当科疾患に関してのご質問、疑問があれば、まずはお気軽にお電話でお問い合わせください。
☎お問い合わせ：
0948-29-8036
（平日：9:00～17:00）

循環器病センター
オリジナルホームページ公開中☆

循環器病センター レター　Vol.9

【発行】飯塚病院 循環器病センター　【発行日】2023 年 6 月
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83　TEL：0948-22-3800（代）
心臓血管外科直通電話：**0948-29-8024**　循環器内科直通電話：**0948-29-8036**
http://aih-net.com